

台風15号及び台風19号の対応について

関東経済産業局では、発災直後から様々な形で被災地に職員を派遣。また、被災地域毎に支援チームを立ち上げ、地域によっては当局・県・市・商工団体による合同チームが被災中小企業を個別訪問。関係機関が一体となって、企業に寄り添った支援を展開。

①発災直後からのリエゾン派遣

- ✓ 18 県市町村に派遣。

②支援チームの設置・官官合同チームによる被災中小企業訪問

- ✓ 地域毎に支援チームを局内に設置し（局内全ての部にて対応）、地元自治体及び商工団体等との支援体制を構築。神奈川県・埼玉県・長野県等の主な被災地域において、自治体等と合同で被災企業等を訪問し、被害実態・支援ニーズを把握。

③支援施策説明会・個別相談会の開催

- ✓ 自治体、商工団体等と連携し、被災企業、自治体・商工団体等を対象に復興支援策の説明会・相談会を開催。



台風15号及び台風19号の対応について（関東東北産業保安監督部）

関東東北産業保安監督部では、主に以下の対応を実施。

- 産業保安関係法令等に基づき、各分野（電力、ガス（都市ガス、LPガス、高圧ガス、コンビナート）、鉱山、火薬等）の事業者等からの災害・事故情報の収集
- 事故等の発災現場への職員派遣等による、被災状況の確認、情報収集・分析。

台風15号の被害状況

1. 電力

最大供給支障：約935千戸（9/9 7:50時点）

【主な施設の被害例】

- ① 水上メガソーラー太陽光発電所（市原市）パネル損壊・火災（市原市）
- ② 配電線におけるアーク放電の発生（香取市）
- ③ 「通電火災」の可能性のある作業所（君津市）等の火災
- ④ 千葉県内を中心とする相当数の電柱損壊
- ⑤ 送電線 鉄塔倒壊（君津市）
- ⑥ 飯岡風力発電所風車ブレード破損・落下

2. LPガス

ボンベの紛失・転倒 など3件

3. 高圧ガス

ボンベの流失 3件、冷媒ガスの流出 2件

4. コンビナート

塩酸、絶縁油等の漏洩 2件、設備の損壊 2件、
配線のショート火災1件

5. 鉱山

天然ガス鉱山において倒木により低圧送ガス管が破損

台風19号等の被害状況

1. 電力

最大供給支障：約435千戸（10/12 23:55時点）

【主な施設の被害例】

- ① 変電所等の浸水（栃木市、佐野市、茂原市）
- ② 発電所・開閉所等の変圧器流出（野原町）
- ③ 鉄塔周辺土砂崩壊（箱根町、三島市） 他

2. 都市ガス及び特定導管事業（ガス事業法）

旧簡易ガスを含む供給支障：延べ1,366戸

調整圧器等の設備水没、河川氾濫による導管損傷

3. LPガス

ガスの漏洩 3件、ボンベ
の紛失・流失34件

4. 高圧ガス

ボンベの流失 4件

5. 火薬類

火薬類製造所の損壊 1件、火薬品庫の損壊・水没 2件、
火工品の喪失 1件

6. コンビナート

作動油・絶縁油の漏洩2件、護岸の損壊 1件

7. 鉱山

- ① 鉱山（秩父市）の唯一の連絡道路が崩落。特に坑廃水処理に必要な資材搬入が困難に。
- ② その他鉱山にて、坑内・管理道路・堤体等の損壊等8件、プラントの水没等3件

例) 東京電力PG (株) 木内線No.78,No.79鉄塔倒壊事故の立入検査等

1. 事故発生日時・設備概要

事故発生日時：令和元年9月9日2:55頃
鉄塔高さ：No.78鉄塔 45m、No.79鉄塔 57m
建設年：昭和47年
所在地：千葉県君津市長石

2. 被害の状況

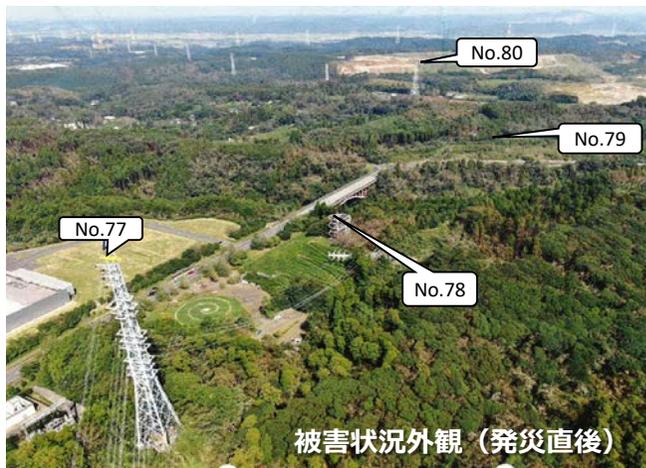
66kV木内線No.78、No.79鉄塔2基が倒壊

3. 当部の対応

9月19日、当部職員2名による立入検査を実施し被害状況、二次被害の防止措置の状況等を確認。当部から東京電力PGに対し、事故原因の究明を要請。

4. 鉄塔電柱WG委員による現地調査 (11/10)

本省による当該調査 (委員 5名参加) に同行し、立入検査での確認内容等について説明。



例) 千葉県内の電柱倒壊等の被災状況の確認 (9/15,16,17)

山武市木原

倒木による損壊



八街市砂



倒木による損壊

八街市大関



例) 水上メガソーラー発電所の太陽電池破損事故への対応

1. 発生日時

令和元年9月9日(月) 7時10分頃

2. 発電所概要

発電所名: 千葉・山倉水上メガソーラー発電所

所在地: 千葉県市原市

発電所出力: 11,500kW

太陽電池出力: 13,744kW (270W×50,904枚)

3. 被害状況

物的被害: 太陽電池50,904枚のうち2/3程度(推定)が風に流され、一部が転倒・破損、1~2箇所が発火、焼損。

4. 当部の対応

職員2名による立入検査を実施。感電等二次被害防止のため柵内への立入禁止措置の強化、事故原因の究明等を要請。

事故現場概観



破損状況



発火、焼損跡

例) 鉱山における坑廃水処理用資材の供給問題への対応

1. 被害状況

- ・ 県道210号線が崩落により通行止め。秩父鉱山が出荷不可・操業停止。
- ・ 坑廃水処理用資材(生石灰、重油等)の調達・搬入が困難となる。

2. 当部の対応

- ・ 県を含む行政関係者・事業者との情報共有と対応について協議。
- ・ 崩落箇所完全復旧までの間、事業者による坑廃水処理が円滑に遂行されるよう側面支援を実施。



県道210号ロックシェッド崩落現場概観
(撮影: 10/21)

人力による生石灰の搬入作業
(10/19)

